

□議員名：宮 本 政 志

1 厚狭駅周辺のまちづくりについて

論点	厚狭駅周辺のまちづくりを進めていくには、駅南北地区の連絡機能強化と北部地区の都市計画道路整備を進めていくべきだ。
回答	南北地区の連絡機能強化は欠かせないと考えているので、JRなどの関係機関との協議を継続していく。また、北部地区の都市計画道路の整備については、市道成松山川線や市道千町松ヶ瀬線において通学路の安全対策事業として道路拡幅や歩道整備に着手している。

論点	駅南北の連絡機能強化として検討している自由通路の整備は進んでいない。見直しをするか実現可能なものを早急に検討するべきだ。
回答	基本計画に掲げている具体的な取り組み項目が実現し、厚狭駅南部地区の定住人口や店舗などの集客施設が増えてきた時点で、駅南北連絡通路の整備手法を含めた基本計画の見直しをしていく。

論点	厚狭駅構内通路の活用について、今後どのように進めていくのか。まずは、駅構内通行料の無料化を進めていくべきである。
回答	全国の事例を研究して何か突破口はないか、あるいは協議できることがないかなど、来年度もJRと協議を継続していき進めていきたいと考えている。

論点	厚狭駅南北地区を結ぶ主要道路を新しく造るより、既存の峠山川線を主要道路として活用するべきだ。拡幅整備を検討してはどうか。
回答	県道船木津布田線と国道2号厚狭埴生バイパスを結ぶ重要な道路であり、厚狭駅南部地区と北部地区のアクセス面でも必要性が高い道路である。今後交通量が増し、ネットワーク道路としての重要性が高まってくれば、実現化させていきたいと考えている。

論点	厚狭駅西側の歩行者通路を整備して幅員3.6mの通路にすれば、歩行者の安全性が向上し利用者も増える。整備をするべきだ。
回答	厚狭駅南部地区から駅北側にアクセスするのに一番近い道路である。水

	路蓋の整備をして拡幅する提案については考えていく。また、水路管理者との協議も必要だが、事業化できるように進めていく。
--	--

論点	駅北部地区の主要道路である市道成松山川線と市道千町松ヶ瀬線の道路整備の進捗状況と今後の取り組みはどうなっているか。
回答	市道成松山川線は本年度事業着手し、道路の設計業務と用地確認業務を行っている。この業務が完了次第、用地購入など次へ進む。市道千町松ヶ瀬線は、本年度用地購入などの補償業務に着手した。用地が確保できた箇所から順次、道路整備を進めていく。

論点	厚狭小学校や厚狭高校へ行く道路は狭くて大変危険である。厚狭新橋から国道316号に向けて、新しい道路を整備すべきである。
回答	厚狭新橋から西側の市道について整備が完了した後に、厚狭新橋から国道316号に向けての道路整備を検討していく。

論点	厚狭駅南部地区に新しく整備される公立保育所の災害対策は、どのように講じることになっているか。
回答	多くの方から水害に対するご意見があったので、建物構造を頑丈にし、敷地を30cm、建物をさらに20cmかさ上げする。また、早々に避難計画を策定し最適な避難所を設定する。避難訓練についても、建設地の状況を考慮し、訓練内容を十分に検討していく。

論点	厚狭駅は海拔も高いし建物が強固である。火災にも強い。厚狭駅周辺住民や保育園児の為に、厚狭駅全体を避難場所にするべきだ。
回答	緊急避難場所に指定しているところが、本当に最適なのか変更をするべきなのかを検討している。厚狭駅を避難場所にすることを進めていきたいと考えている。

論点	厚狭駅南部地区の世代を超えた交流拠点施設として、さくら公園の活用を充実したものにすべきである。
回答	さくら公園は、多世代交流拠点に位置付けている。今後は、地元の利用

	<p>者とも協議をしながら、子供用の遊具や健康遊具などを設置して、公園施設の充実を図っていく。</p>
--	---

<p>論点</p>	<p>厚狭駅周辺のまちづくりを進めるのに取り急ぎ対応すべきことは、桜川を見据えた水害対策である。早急に取り組むべきである。</p>
<p>回答</p>	<p>厚狭駅南部地区のまちづくりには桜川を活かすことが大切である。桜川の管理者である山口県に対して桜川の重要性や水害の被害軽減などの対応をしっかりと要望していく。</p>

<p>論点</p>	<p>厚狭駅周辺のまちづくりについて、20年後、30年後に向けたグランドビジョンをしっかりと描いていくべきである。</p>
<p>回答</p>	<p>厚狭駅周辺は、本市の中心的役割を担う都市拠点であり、交通拠点でもある。さらには、歴史や文化などあらゆる財産の宝庫でもある。これらが十分に活用されているかを反省しながら、まちづくりを進めていく必要があると考えている。</p>